

# 一西だより

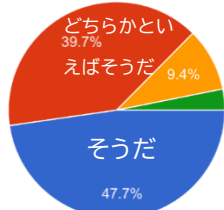


豊川市立一宮西部小学校通信  
令和7年9月1日 第13号  
発行;校長 村上謙一

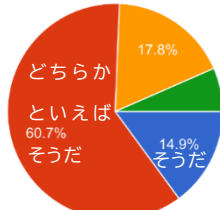
## 【チーム担任制の経過】

1学期の学校評価アンケートから、4月から3年生以上で取り組んでいるチーム担任制について振り返ります。(紙面の関係上一部分のみです)

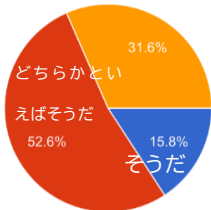
Q1「担任の先生がローテーションすることは子どもたちのためになっている」



児童



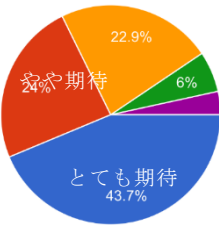
保護者



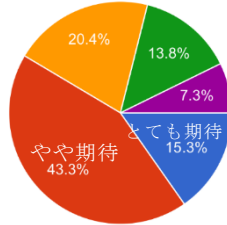
教職員

- そう思う
- どちらかといえ
- どちらかといえ
- どちらかといえ
- そう思わない

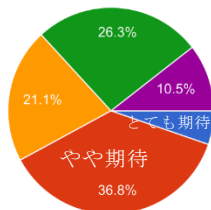
Q2「今後、チーム担任制を継続することについてどう思いますか」



児童



保護者



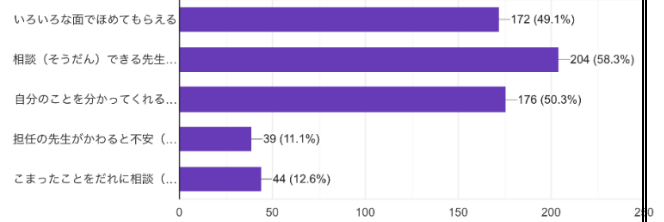
教職員

- とても期待 (きたい) する (とてもう...)
- やや期待 (きたい) する (少しうれし...)
- とくに期待 (きたい) も不安 (ふあん...)
- やや不安 (ふあん) である
- とても不安 (ふあん) である

肯定的な捉えは、児童 87.4%、保護者 78.5%、教職員 68.4%でした。チーム担任制先進校の調査結果では導入初期の肯定意見は児童 50%、保護者 30%、教職員 50%程度であることを踏まえると導入 4 か月時点の結果としては良好と言えます。新しい取組の浸透には時間がかかります。

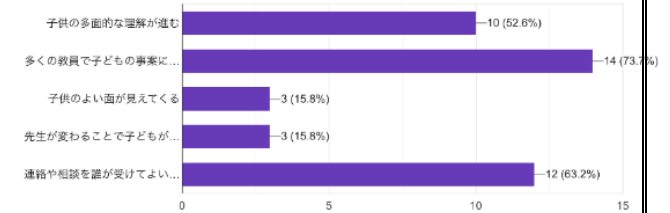
## 児童の回答

⑭ チーム担任制で、あてはまると思うことすべてにチェック (し) を入れてください。  
350 件の回答



## 教職員の回答

⑭ 担任がローテーションすることで、あてはまると思うことすべてにしをつけてください。  
19 件の回答



児童の回答からは、チーム担任制のねらいである 1 人の児童を多くの教職員の価値観で多面的に見とれていることが「ほめてもらえる 49.1%」「相談できる先生がいる 58.3%」「分かってくれる先生がいる 50.3%」に表れています。

教職員の回答からも「多面的な見取りが進む 52.6%」「多くの教職員で関われる 73.7%」にその効果が見られます。

※保護者回答の集計は次号でお知らせします。

本校の教育目標「自分がつくる みんなの一西小」に向けて、児童の主体性と当事者意識を育むために、このチーム担任制を導入しています。また、チーム担任制をすでに導入している学校は「子どもの荒れや学級崩壊がなくなった。」「教職員が抱える悩みや相談に早く対応できるようになった。」「担当する教科数が減ることで業務改善が進んだ。」等の副次的な効果が表れることも報告されています。

これまでの担任制が抱える課題克服に向けて、挑戦する価値が十分にある取組ではありますが、新しい取組であるがゆえに、解決していくべき新たな課題も生まれます。子どもを真ん中に置いて、よりよい制度設計に努めてやってみる。やってダメだったら、やりなおせばいい。大切に作るものさえ見失わなければ挑戦は成長につながるし、そんな大人の背中を見せたいとも考えています。